

## 第16回 草津市まち・ひと・しごと創生本部 会議

**開催日時** 令和2年1月14日(火) 午前9時30分から午前9時45分まで

**開催場所** 庁議室

**出席者** 副本部長: 山本副市長、教育長

本部長: 総合政策部長、総合政策部理事(公社担当)兼危機管理監、総合政策部理事(草津未来研究所・行政経営担当)、総務部長(兼法令遵守監)、まちづくり協働部長、環境経済部長、健康福祉部長、健康福祉部理事(健康福祉政策担当)、子ども未来部長、都市計画部長、技監、建設部長、上下水道部長、代理: 教育委員会事務局副部長(総括)、教育部理事(学校教育担当)、議会事務局長、監査委員事務局長

**欠席者** 本部長: 市長、副本部長: 北中副市長

**議事概要** 下記のとおり

### 1. 案件

#### (1) 草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略について【審議案件】

##### 【事務局より資料1に基づき説明】

- ・人口減少対策、地方創生に特化した取組の考え方を示すものとして、平成27年度に草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」)を策定し取組を進めている。
- ・現在策定を進めている第6次草津市総合計画の計画期間中に本市の人口が減少する見込みであり、総合計画と総合戦略の整合性を図りながら取組を進める必要があると考えている。
- ・令和元年度までが計画期間である総合戦略を1年延伸し、第6次草津市総合計画第1期基本計画に計画期間を合わせ一本化して策定する。
- ・総合戦略を1年延伸した際の戦略目標の指標と重要業績評価指標(KPI)について、3つのパターンに分けて令和2年度までの目標値を設定する。
- ・現行の総合計画(基本計画)でベンチマークとして設定している場合はベンチマークと合わせて目標値を設定する。(パターン①)
- ・現行の総合計画(基本計画)でベンチマークとして設定しておらず、目標値を達成している場合は最新の実績値を目標値として設定する。(パターン②)
- ・現行の総合計画(基本計画)でベンチマークとして設定しておらず、目標値を達成していない場合は令和元年度の目標値をそのまま目標値として設定する。(パターン③)
- ・総合戦略の前提となるものとして平成27年度に「人口ビジョン」を策定したが、第6次草津市総合計画基本構想の前段部分において、個別計画や施策を踏まえた人口推計を「人口の見通し」としてお示しているところであり、「人口の見通し」を「人口ビジョン」として捉え総合戦略を策定したいと考えている。

##### 【主な質疑・意見】

- ・戦略目標を1年延伸した際の目標値の設定であるが、パターン②について、目標値を一律に横ばいとするのであれば、理由を補足するなどを検討してはどうか。  
→理由の補足について検討させていただく。
- ・今回、第6次草津市総合計画の「人口の見通し」を「人口ビジョン」とすることで、平成27年度に策定した本市の「人口ビジョン」および国の「長期ビジョン」で用いられている出生率と数値が異なることになるが、考え方について説明ができるように準備いただきたい。

このページのお問い合わせ

概要作成担当 草津市 総合政策部 企画調整課 企画調整係

電話 077-561-2320

ファックス 077-561-2489

メール [kikaku@city.kusatsu.lg.jp](mailto:kikaku@city.kusatsu.lg.jp)